***※ 10.5pで記入し、全体で８頁（タイプＡのみ申請する場合は７頁）以内で作成すること。***

***提出先・問合先：研究協力課　吉田、金本　Email：***[***ou-fellowship@adm.okayama-u.ac.jp***](mailto:ou-fellowship@adm.okayama-u.ac.jp) ***Tel：086-251-8462***

**令和４年度　岡山大学科学技術イノベーション創出フェローシップ（ＯＵフェローシップ）**

**【タイプＡ】【タイプＢ】（共通）申請書**

|  |
| --- |
| **提出日：　　年　　月　　日** |

**私は、募集要項を熟読し、申請資格を有していることを確認の上、令和４年度岡山大学科学技術イノベーション創出フェローシップに申請します。**

**１.応募するタイプ**

|  |  |
| --- | --- |
| タイプＡ（希望順位：アイテムを選択してください。） | タイプＢ（希望順位：アイテムを選択してください。） |

*併願の場合は両方にチェックを入れ、希望順位を選択してください。*

*希望順位は選考の際の参考とさせていただきます。*

**２.申請者情報**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （フリガナ）  氏名 |  | 連絡先 | Email：  Tel： |
| 生年月日 | （西暦）　　　年　　　月　　　日　　　（　　　　歳）　(R4.4.1満年齢)  ※ タイプＡについては、年齢要件が、原則30歳未満（ただし、出産・育児等のライフイベントを経た者においては32歳未満、臨床研究を課せられた医学系分野に在籍していた者においては33歳未満）と定められています。（タイプＢには年齢要件なし。）  タイプＡ申請者で、このただし書きに該当する場合は、以下をチェックの上、記入ください。  □ ライフイベントにより研究を中断した期間がある。（中断期間：　　　～　　　）  臨床研究を課せられた医学系分野に在籍していた。 | | |
| 学　歴　等  (学部卒業から） | 1．（西暦）　　　年　　　月　　　大学　　　学部卒  2.（西暦）　 　 年　　　月　　　大学　　　研究科　　専攻 入学  3.（西暦） 年　　　月 修了（予定） | | |
| 博士後期課程  在籍状況  (R4.4.1現在) | 1．入学(予定)年月：（西暦）　　　年　　　月  2．研究科・専攻名：アイテムを選択してください。  3．R4.4.1時点における博士後期課程在籍期間累計：　年　ヶ月（休学期間を除く）  *※ 「3.」については、「1.」が令和4年4月の場合は記入不要* | | |
| 指導（予定）  教員職名・氏名 |  | | |
| 所見書の依頼先 | *「所見書」の作成を依頼した方の情報（所属・職名、氏名、申請者との関係）を記入ください。*  *（上記「指導（予定）教員」と同じ場合は、「指導（予定）教員と同じ」としてください。）* | | |

|  |  |
| --- | --- |
| 申請資格の確認　★申請資格で不明点がある場合は、必ず事務局に照会のこと | |
| 【タイプＡ】 | *R4.4.1現在の状況（予定）について、以下の□にチェックを入れてください。なお、全てにチェックが入らなければ、申請できません。*  私は、社会人ではありません。  *※ 「社会人」とは、①経常的な収入を得る仕事に現に就いている者、②経常的な収入を得る仕事から既に退職した者、③主婦・主夫 を指します。ただし、③については、生活の実態により、社会人とはみなさず、申請資格を認める場合があります。*  私は、日本学術振興会の特別研究員ではありません。  　（特記事項：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  *※ 本申請書提出日現在において、特別研究員(令和４年４月採用分)の面接候補者等となっている場合は、その状況を特記事項欄に記載してください。*  *（以下2項目は留学生のみチェックしてください。）*  私は、国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生ではありません。  私は、本国からの奨学金等の支援を受ける留学生ではありません。 |
| 【タイプＢ】  いずれかにチェック | *R4.4.1現在の状況(予定)について、該当する□にチェックを入れ、必要事項を記入してください。*  私は、経常的な収入を得る仕事に現に就いている者ではありません。  私は、経常的な収入を得る仕事に現に就いている者に該当します。  　　　　所属している企業等名：  勤務形態・状況（正社員・休職中等）：  今後１年間の収入見込額：　　　　　　　　　円  *※ 収入見込額証明書（別紙様式）を添付すること。期限に間に合わない場合は、作成後、速やかに提出すること。なお、今後１年間の収入見込額が240万円を越える場合は、申請できません。*  私は、日本学術振興会の特別研究員ではありません。  （特記事項：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  *※ 本申請書提出日現在において、特別研究員(令和４年４月採用分)の面接候補者等となっている場合は、その状況を特記事項欄に記載してください。*  *（以下2項目は留学生のみチェックしてください。）*  私は、国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生ではありません。  私は、本国からの奨学金等の支援を受ける留学生ではありません。 |
| 【タイプＡ・Ｂ共通】  他の奨学金等  （入学一時金を除く）  の受給状況 | *他の奨学金の受給状況（R4.4.1現在)について、いずれかの□をチェックし、必要事項を記入ください。*  入学一時金を除き、いずれの奨学金も受給及び申請していません。  以下の奨学金を 現在受給しています。／受給することが決定しています。／申請中です。*※不要な文字を削除*  名称：  月額：　　万円（期間：（西暦）　年　　月　～　　年　　月） |

**３.これまでの研究活動実績　以下(1)～(6)に留意して記入ください。**

**(1)学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文、著書**（査読の有無を明らかにしてください。**査読のある場合、採録決定済のものに限ります。**）。これらについて、著者（申請者の部分にアンダーラインを引くこと）、題名、掲載誌名、発行所、巻号、pp開始頁-最終頁、発行年を記載してください。

**(2)学術雑誌等又は商業誌における解説、総説**

**(3)国際会議における発表（口頭・ポスターの別、査読の有無を明らかにしてください。）**著者、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。（**発表予定のものは除く。**ただし、発表申し込みが受理されたものは記載してもよい。）

**(4)国内学会・シンポジウム等における発表**(3)と同様に記載してください。

**(5)特許等**（申請中、公開中、取得を明示しにしてください。ただし、申請中のもので詳細を記述できない場合は概要のみ記載。）

**(6)その他**（受賞歴等）

|  |
| --- |
|  |

**４.研究タイトル及び研究分野**

以下「4.研究計画」に記述した研究の内容を表すタイトルを40字以内で記入ください。

研究分野名欄には、別紙「岡山大学重点研究分野」の該当する中領域の名称を記入ください。

|  |
| --- |
| 研究タイトル：  研究分野名： |

**５.研究計画**

**(1)研究の背景**これまで申請者が取り組んできた研究の経過及び得られた結果との関連性に言及しつつ、これからの研究計画の背景、問題点、解決すべき点、着想に至った経緯等について記入してください。

|  |
| --- |
|  |

**(2)研究目的・内容・計画**　（図表を含めてよいので、専門外の人にもわかりやすく記述してください。）

①研究目的、研究方法、研究内容について記述してください。

②どのような計画で、いつ頃までに、何を、どこまで明らかにしようとするのか具体的に記入してください。また、研究が予定どおりに進まない時にどのように対応するかを具体的に記入してください。

③グループで行う研究の場合は、申請者が担当する部分を明らかにしてください。

④研究計画の期間中に異なった研究機関（国内外は問わない。）において研究を予定している場合はその旨を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

**(3)研究の特色・独創的な点**次の項目について記載してください。

①これまでの先行研究等があれば、それらと比較して、本研究の特色、着眼点、独創的な点

②国内外の関連する研究の中での当該研究の位置づけ、意義

③本研究が完成したとき予想されるインパクト及び将来の見通し

|  |
| --- |
|  |

**６.研究者を志望する動機、目指す研究者像、アピールポイント等**

　本フェローシップ事業は、本学の重点研究分野における若手研究者の養成、ひいては、我が国の科学技術・イノベーション創出を担う研究者の養成を目的としています。この目的に鑑み、研究者を志望する動機、目指す研究者像、その他アピールポイント等を記入してください。また、博士修了後のキャリアパス（アカデミア、民間企業、起業、海外ポスドク等）について、現時点で思い描いている具体的な目標がある場合は記入ください。

|  |
| --- |
|  |

**７.将来の我が国の科学技術・イノベーション創出に貢献するためのビジョン・方法**

本フェローシップ事業は、将来の我が国の科学技術・イノベーション創出を担う研究者を養成することを目的としています。この目的に鑑み、将来どのようにして我が国の科学技術・イノベーション創出に貢献するかを具体的に記入してください。

|  |
| --- |
|  |

**※ タイプＢ申請者（タイプＡとの併願者を含む。）は記入下さい。**

**８.研究費（チャレンジ枠）を活用し、取り組みたいこと。**

タイプＢでは、自らの①国際性、②研究力、③キャリア意識を高める取組の提案を受け付け、その内容をもとに、研究費（定額40万円）とは別に、最大70万円の研究費（チャレンジ枠）を追加配分します。フェローシップ対象者には改めて詳細を照会しますが、この「チャレンジ枠」を活用して主体的に取り組みたい計画概要を予算案（概算）とともに、記入してください。

　　（例）　・海外留学、国際学会参加等　・国内の大学・研究機関等への長期研修等　・海外インターンシップへの参加等

|  |
| --- |
|  |
| 予算案（概算でよいので令和４年度の予算案がわかるように記入してください） |
| 合計額　　　　　　万円 |